

事業実績書

事業名		CoderDojo 三島/沼津
場所		国立高専機構 沼津高専 電子制御工学科実験室
期間		平成 30 年 4 月 15 日 ~ 平成 30 年 3 月 17 日
	日程	実施項目・作業項目
事業内容		【開催実績】 1 回目：2018 年 5 月 20 日（日）14：00～16：00：15 名参加[男 8/女 7]（子の人数をカウント） 2 回目：2018 年 7 月 15 日（日）14：00～16：00：16 名参加[男 11/女 5] 3 回目：2018 年 9 月 16 日（日）13：00～16：00：17 名参加[男 11/女 6] 4 回目：2018 年 11 月 18 日（日）13：00～16：00：18 名参加[男 14/女 4] 5 回目：2019 年 1 月 20 日（日）14：00～16：00：19 名参加[男 16/女 3] 6 回目：2019 年 3 月 17 日（日）14：00～16：00：14 名参加[男 10/女 4] 【内容】 1) アイスブレイク（アンプラグドプログラミングゲーム） 2) プログラミングタイム。 3) グループ内発表会。 4) 全体発表会。 【打ち合わせ・他】 ・CoderDojo 開催後 [MTG（ミーティング）] 振り返り ・2018/07/25 : [MTG] 運営費について ・2018/08/29 : 沼津情報ビジネス専門学校様訪問 ・2018/08/21 : 静岡県ソフトウェア事業協同組合へ寄付のお願い ・2018/08/25 : DojoCon（全国の CoderDojo の集まり）に参加、登壇。 ・2019/01/27 : [MTG] 次年度の計画
事業効果		試行錯誤しながらの運営であったが、子供たちに楽しみながらプログラミング技術を身につけてもらうという目的は達成できたと考えている。 活動を支えるメンターが増えたことも事業効果として評価している。
今後の活動予定		メインの Dojo は今年度と同様、国立沼津工業高等専門学校様に場所を提供いただき、1 年に 6 回開催予定。 2019 年度は更に（プログラミング未経験者が参加しやすいように）、出張 Dojo を計画している。スポンサー企業や、行政のイベント、学校などで、有償または無償でワークショップを開催する。 近隣の CoderDojo と共同で、スポンサー企業、一般の方々、学校の先生などを招待し、イベントを開催し、認知度をあげる。
自己評価		募集開始後ほぼ毎回キャンセル待ちが発生するなど盛況している。静岡新聞に掲載される（2018/8/21）など認知度も上昇傾向が見られる 立ち上げ時 3 名だったメンターが現在 13 名に増員した。（沼津高専生 3 名、中学生 1 名を含む）。 また、自ら協賛を申し出てくださる企業も現れ、スタートアップ事業としては成功していると評価している。

CoderDojo 三島/沼津 平成 30 年度活動報告

毎回、キャンセル待ちがでる盛況な活動となっており、地元の方々の関心の高さを感じております。

当初、4 名で CoderDojo 三島/沼津の発足準備を始めましたが、活動を支えるメンターも増え、現在は 13 名になりました。他、新たに数名のメンター希望者の申し込みをいただいております。活動内容、募集方法など試行錯誤しながらの 1 年でした。

今年度の活動を報告させていただきます

◆報告期間

2018 年 4 月～2019 年 3 月

◆開催日

- 1 回目:2018 年 5 月 20 日(日)
- 2 回目:2018 年 7 月 15 日(日)
- 3 回目:2018 年 9 月 16 日(日)
- 4 回目:2018 年 11 月 18 日(日)
- 5 回目:2019 年 1 月 20 日(日)
- 6 回目:2019 年 3 月 17 日(日)

◆全 6 回の参加人数

(親子で参加ですが、子どもの人数をカウントしています)
延べ 99 名 (うち 2 割～3 割がリピーター)

◆メンター内訳

年代

	男	女
10 代	3	1
20 代		1
30 代	2	
40 代		1
50 代	1	2
60 代	1	
70 代	1	

職種

- ・エンジニア、元エンジニア
(会社員、フリーランス)
- ・専門学校、パソコン教室教諭
- ・通信教育事業企業勤務
- ・WEB デザイナー
- ・学生(高専生、中学生)

◆準備活動(～ 2018 年 4 月)

- ・沼津街づくりファンドに申請(採択)
- ・ホームページ作成
- ・他の CoderDojo 見学(CoderDojo 浜松、CoderDojo 下北沢、CoderDojo 市川真間)

◆その他の活動・他

- ・2018 年 8 月 11 日 三島市夏休みイベントの講師 [主催:三島市生涯学習課]
- ・2018 年 8 月 21 日 静岡新聞に掲載される
- ・2018 年 8 月 25 日 DojoCon(全国の CoderDojo の集まり)で登壇
- ・2019 年 3 月 2 日 ICT みしままつり [主催:三島市情報政策課]
・子どもプログラミング教室(micro:bit)

1 回目

日時	2018 年 5 月 20 日(日)14:00~16:00									
場所	国立高専機構 沼津高専 電子制御工学科実験室									
参加者	15 名(子どものみ) 男:8 女:7									
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	他
		2	4	3	4	3				
内容	1) アイスブレイク(アンプラグドプログラミングゲーム) 子どもたちを 3 チームに分け、1 チームずつ 1 人ずつカードを提示して、自チームのロボット(役のメンター)を誘導する。 2) プログラミングタイム。初心者は、ビスケット(低学年)、スクラッチ(高学年)に振り分け、それぞれメンターが説明する。 3) 近くのテーブルでグループを組んで発表。メンターがグループ内のプログラミング内容を全体に報告。 使用ツール:ビスケット、スクラッチ、レゴマインドストーム									
備考	次回は CoderDojo らしく メンターが教える形式ではなく、子どもが自主的に学べるように変更する。→ 自習書の準備									



アンプラグドプログラミングのカード



プロジェクトで説明



レゴマインドストーム

2 回目

日時	2018 年 7 月 15 日(日)14:00~16:00									
場所	国立高専機構 沼津高専 電子制御工学科実験室									
参加者	16 名(子どものみ) 男:11 女:5									
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	他
	1	1	1	4	6	3				
内容	1) アイスブレイク(アンプラグドプログラミングゲーム) 2) プログラミングタイム。初心者は、親子で自習書で学ぶ。 3) グループ内発表会。 4) 全体発表会。(2 名程度選出してプロジェクトで発表) 使用ツール:Hour of Code、ビスケット、スクラッチ、レゴマインドストーム									
備考	ツール説明時、Hour of Code の画面をみせたので、アナ雪や、マイクラフトに惹かれて Hour of Code を選択するニンジャが多かった。									



アイスブレイク:優勝チームとロボット役のメンター(高専生)



自習書(CoderDojo 市川真間作成)



グループ内発表会:高専生メンタ(左)と社会人メンター(右)

3回目

日時	2018 年 9 月 16 日(日) エンジョイコース:13:00~14:00 通常コース:14:00~16:00									
場所	国立高専機構 沼津高専 電子制御工学科実験室									
参加者	◆エンジョイコース 4 名(子どものみ) 男:3 女:1									
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	他
	1			1	1		1			
参加者	◆通常コース 17 名(子どものみ) 男:11 女:6									
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	他
	2	1	2	3	5	3	※1			
※エンジョイコースの 4 名は全員通常コースへ。うち 1 名は通常コースではメンターとして参加。										
内容	1) アイスブレイク(アンプラグドプログラミングゲーム)※ロボット役は保護者に依頼。 2) プログラミングタイム。 3) グループ内発表会。 4) 全体発表会。(2 名選出してプロジェクトで発表) 使用ツール:Hour of Code、スクラッチ									
備考	・エンジョイコースは、募集時に中上級者という条件をつけていたが初心者が参加。継続的に技術サポートをしてステップアップしてもらおうためのコースであったが、初心者への説明にメンターの時間が割かれることになった。 ・エンジョイコース参加の中学生(CoderDojo 三島/沼津の前身の子どもプログラミングワークショップからの参加者)が、通常コースではメンターとして活動に参加。									



中学生メンター



プロジェクトで発表



記念撮影

4回目

日時	2018 年 11 月 18 日(日) エンジョイコース:13:00～14:00 通常コース:14:00～16:00									
場所	国立高専機構 沼津高専 電子制御工学科実験室									
参加者	◆エンジョイコース 2 名(子どものみ) 男:1(中 1) 女:1(小 3)									
	◆通常コース 18 名(子どものみ) 男:14 女:4									
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	他
	2	1	2	6	2	3	※1	1		
	▶ メンターとして参加									
内容	1) アイスブレイク(アンプラグドプログラミングゲーム) 2) プログラミングタイム。 3) グループ内発表会。 4) 全体発表会。(2 名選出してプロジェクトで発表) 使用ツール:Hour of Code、スクラッチ、IAI「サッカー」ミニロボ									
備考	・IAI 様提供のミニロボ(試作品)プログラミングに挑戦。初対面のニンジャたちが、教えあい、仲良くなっている姿がみられる。 ・開始 1 時間前から来る通常コース参加者が多く、意図通りのエンジョイコースが開催できず。									



アイスブレイク



教えあい



サッカーロボット:シュート成功

5 回目

日時	2019 年 1 月 18 日(日) 14:00～16:00									
場所	国立高専機構 沼津高専 電子制御工学科実験室									
参加者	19 名(子どものみ) 男:16 女:3									
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	他
	2	1	3	5		3	2	3		
内容	1) micro:bit の説明 2) アイスブレイク(アンプラグドプログラミングゲーム) 2) プログラミングタイム。 3) グループ内発表会。 4) 全体発表会。 使用ツール: Hour of Code、スクラッチ、micro:bit									
備考	・Code for ふじのくに代表: 市川氏より、micro:bit を 3 個寄付いただく。 ・季節柄マスク着用の参加者が多い。 ・エンジョイコースの廃止									




6 回 目

日時	2019年3月17日(日) 14:00~16:00									
場所	国立高専機構 沼津高専 電子制御工学科実験室									
参加者	14名(子どものみ) 男:10 女:4									
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	他
	2	2	4	3	1	1		1		
内容	1) アイスブレイク(アンプラグドプログラミングゲーム) 2) プログラミングタイム。 3) グループ内発表会。 4) 全体発表会。 使用ツール: Hour of Code、スクラッチ、micro:bit、レゴマインドストーム									
備考	・CoderDojo 静岡のチャンピオン納本氏とユースメンターである息子さんが参加。 ・今回は「プログラミング教室で習っている」と話すニンジャが多数参加していた。 ・JavaScript をコードで書いているニンジャが登場。									



